

現場管理者のための ティーチングスキル 向上セミナー

～ 安全を起点にKYK・TBMの重要性を学ぶ ～

開催日時 **2025年 5月16日(金)**
10月 8日(水)
10:00～17:00

名古屋会場

名古屋会場

会場

名古屋

JRセントラルタワーズ 36F
(愛知県名古屋市中村区名駅一丁目1番4号)

対象

・製造業及び建設業における現場管理者、新任管理者、スタッフ

・現場の安全衛生推進者

講師

中川 優氏

(株)オフィスグラビティ 代表取締役

一般社団法人日本能率協会 主任講師

参加料(税込)

法人会員：55,000円/1名

会員外：66,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

昨今、労災事故が増加傾向にあり、その原因として管理者の高齢化や人手不足が指摘されています。特に若い作業員と管理者の間の世代間ギャップが、労災発生を助長しているとも言われています。従来の指導方法では伝わりにくく、安全意識の違いも顕著に表れています。

本セミナーでは【労災ゼロ】を目指す企業をバックアップするため、「作業開始前のKYK・TBM」の重要性を再認識し、作業員に安全の重要性を効果的に伝える教育手法や危険予知活動の指導法を学びます。

学べるポイント

- ・現場のケースを用いた指導演習で実践的に学べます。
- ・グループ討議を通じて理解を深め、応用力を持ち帰ることができます。
- ・最新の《安全+環境》の視点に触れることができます。

若手への安全指導方法…「間違っていないですか?」

秘訣は「かもしれない」意識の習慣化「小さな成功体験」の積み重ね

未だにこんな事でバヤク
現場管理者がいます…

ティーチング方法を見直す

「ダメ出し」でなく「改善提案」へ
「叱る」でなく「期待する」へ
「上から」でなく「同じ目線」へ

Z世代の特質を理解する

デジタルネイティブで育った彼らは、むしろ経験重視し、体験を通じた指導内容に耳を傾けます!



「注意すればくれる」
「叱れば辞める」
若手指導は難しい!

若手を変える前に
まず自分自身が変わる
必要があるのかも…

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 労働災害発生の原因を考える

- ・労災の増加に背景：多様な働き方、人手不足、コミュニケーションギャップ

2 効果的なTBM・KYKの進め方

- ・TBMをマンネリ化させない秘訣
- ・KYKで事故防止の本気度の共有化

3 OJTトレーナーに必要なスキル

- ・効果的なコミュニケーションスキル
- ・現場の観察とリスク評価能力
- ・安全教育とトレーニングスキル
- ・問題解決と意思決定能力
- ・チームリーダーシップ
- ・データ分析と記録管理
- ・人間関係構築スキル
- ・持続的な改善への取り組み
- ・法令や規制の知識
- ・技術的スキル

4 ケース演習「現場に最適なスキルを選択する」

5 Z世代の作業員に指導する際のポイント

※Z世代：日本では1990年代後半から2010年代初頭に生まれた世代

- ・ITの活用
- ・短時間で集中力を引き出す
- ・意義と意味を伝える
- ・ポジティブなフィードバック（承認欲求）
- ・自己成長の機会の提供（エンゲージメント）
- ・透明性とオープンな環境作り（安全性）
- ・楽しさを取り入れる

6 グループ討議

「自分の伝達・指導方法の改善策を考える」

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

https://school.jma.or.jp/products/detail.php?product_id=152754

